

2025年9月1日

No.222

令和7年6月定例会
定例会は年に4回

かすが 議会だより

KASUGA City Council Report



CONTENTS.

- 2・3p いってみた きいてみた
- 4・5p こんなことを決めました 議案審査
- 6p 議決結果 意見書
- 7～11p ここが聞きたい一般質問
- 11p 臨時会
- 12p 議会からの提言 表彰
- 13p 3Cプラン
- 14・15p 政務活動費

いつでも！どこでも！おうちでも！
議会を
見て行こう！



議会ウェブサイト



Facebook



Instagram

特集 ってみた さいてみた

春日市議会では、令和6年度に市民アンケートを実施いたしました。その結果の一部をお知らせいたします。

調査期間：令和6年10月～11月
調査方法：アンケート用紙を郵送し、回答後返信用封筒で返送
調査対象：18歳以上の市民2,000人（無作為抽出）
回答者数：590人（回収率29.5%）

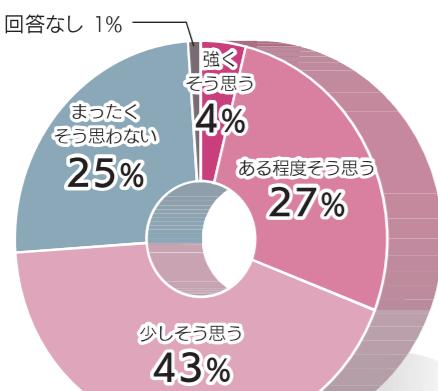


市民アンケート

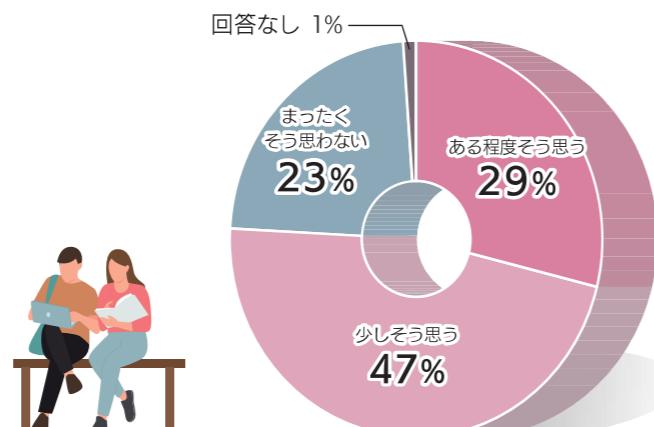
1 市議会に対する関心と満足度

「市議会に関心がありますか」という設問に対し、「強くそう思う」、「ある程度そう思う」、「少しそう思う」と回答した人は、合計74%となり、多くの方が関心を持っていることが分かりました（図1）。同様に、市議会への満足度を尋ねた設問でも、「ある程度そう思う」と「少しそう思う」と回答した人が合計75%に達しました（図2）。この結果は、市民の皆様が市議会に対して高い期待を寄せていることを示しています。

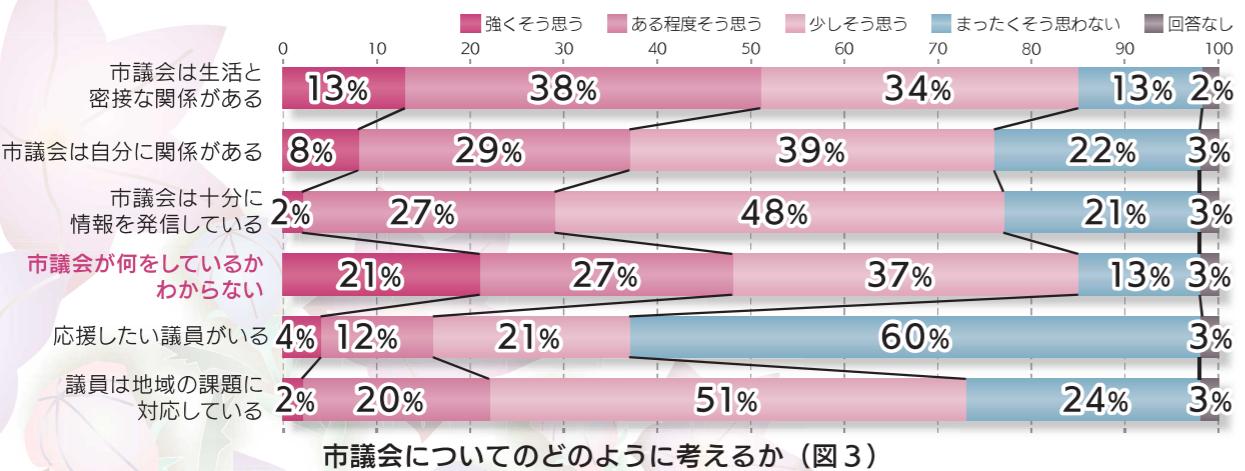
一方、図3の「市議会が何をしているかわからない」という設問では「強くそう思う」から「少しそう思う」と回答した人が合計84%と高く、市議会活動に関する情報発信がさらに求められていると考えられます。



市議会に対する関心度（図1）



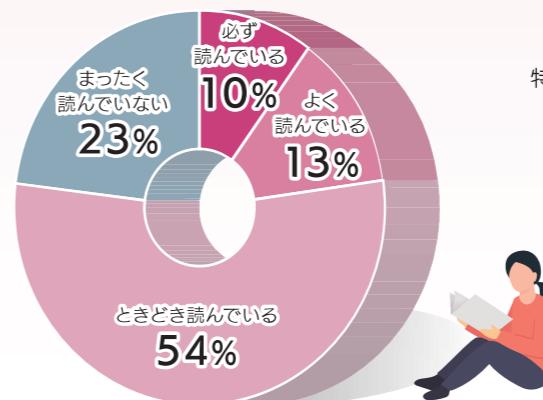
市議会に対する満足度（図2）



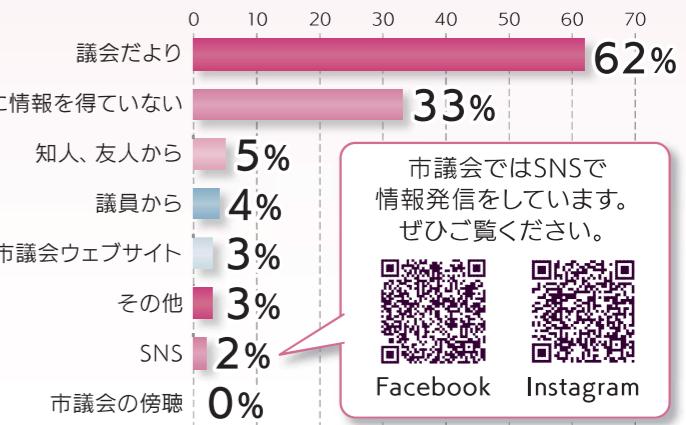
2 市議会の広報

「議会だより」は、回答者の77%に読まれていました（図4）。さらに市民の皆様が手に取りやすい工夫をしてまいります。

一方、市議会の情報源として1位であった「議会だより」の62%に対し、SNSはわずか2%でした（図5）。これを課題ととらえ、より多くの方に市議会の情報が届くよう、魅力あるSNSの発信に努めています。



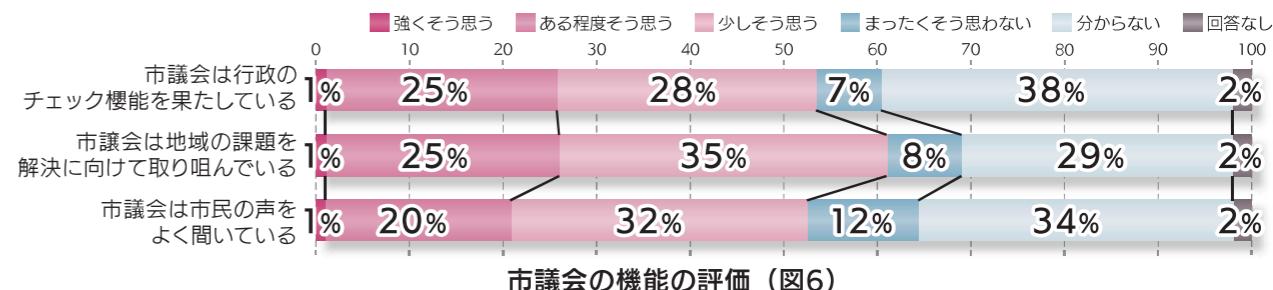
「議会だより」を読んでいる程度（図4）



市議会の情報源（図5）

3 市議会への評価

「市議会の機能」に関する各設問に「強くそう思う」「ある程度そう思う」「少しそう思う」と肯定的に回答した人の割合は52%から61%となっており、市議会は市民の皆様からある程度の評価をいただいているようです（図6）。また、市議会に対する全体的な評価は59%と、半数以上の方から肯定的な評価をいただいている（図7）。情報発信をさらに工夫し、これからも春日市議会は市民の皆様の声を政策に反映させよう、議会改革に積極的に取り組んでまいります。



市議会の機能の評価（図6）



市議会の全体的評価（図7）

アンケートにご協力いただいた市民の皆様、誠にありがとうございました。

現在、春日市議会ではアンケート結果を分析しています。分析結果がでましたら、改めてウェブサイトで公開をいたします。

訂正 かすが議会だより221号2ページに誤りがありました。
②議案上程の説明文中に「市長が上程します」とありますが、正しくは「市長が提案します」です。お詫びして、訂正いたします。

こんなことを決めました

議案審査

令和7年第2回春日市議会定例会

市長提出議案 9件（条例4件、予算2件、人事1件、その他2件）

意見書 2件



春日市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正

・市民活動交流拠点地区地区計画の区域内における用途地域の変更に伴い、当該区域内における建築物の制限に関し、所要の規定の整備を図るもの

【問】建築制限の変更で、土地の使い方は変わるのか

【答】今回の改正による土地利用の変化は、現在建設中の新しい施設が建つ程度である。対象エリアの土地は春日市が所有しており、今後、商業施設や大規模飲食店などができる予定はない

【問】周辺住民への影響はあるのか

【答】現状とほぼ変わらない状態が続くと見込んでいる。新しい施設が旧大谷ふれあい公園エリアに建設される点が大きな変化だが、それ以外の開発予定はなく、周辺住民への大きな影響はないと考えている

消防ポンプ自動車の購入

・春日市消防団東分団及び西分団の消防ポンプ自動車を5,157万9千円で購入

【問】普通免許で運転できるメリットはあるが、大規模災害時に性能不足にはならないか

【答】小型化されても放水能力は現状の消防車とほぼ変わらず、消火活動に支障はない。積載量は減るが、消防団の活動に必要なホースやポンプなどは積載可能である。水タンクの容量は小さくなるが、市内には消火栓が整備されており、消防車はポンプ車であるため支障はない

ふれあい文化センタースプリングホール 特定天井改修工事請負契約の締結

・一般競争入札により、2億5,190万円で工事請負契約を締結

【問】総合評価方式入札の評価項目について、「企業の技術力」よりも「地域貢献・その他」の配点が高く設定されている。評価のバランスについて、どう考えているのか

【答】「地域貢献・その他」の点数を高く設定しているのは、地場業者の育成という視点がある。他市と比較しても大きい割合ではなく、また、福岡県総合評価技術委員会の意見を聴取した上で配点を設定している。「地域貢献・その他」の配点が非常に高いとは捉えていない

春日市税条例の一部を改正

・インターネットによる公示送達を行う規定の整備を図る

・個人市民税…特定親族特別控除が創設されたため規定を整備、公益信託制度の見直しによる寄附金税額控除に係る規定の整備

・市たばこ税…加熱式たばこに係るたばこ税の課税標準の特例の制定

【問】特定親族特別控除の創設について、市民税への影響はどの程度見込まれるのか

【答】令和6年度における額からの概算で約640万円の減額が見込まれる

【問】特定親族の所得に応じて控除する仕組み等について、どのように市民に分かりやすく周知していくのか

【答】市のホームページ等で周知するとともに、市税申告時期に配布する説明資料の中にも記載する予定である

令和7年度一般会計補正予算（第4号）

補正額／4,031万2千円増 岐入歳出総額／437億9,861万5千円

・電子計算機器等管理運営費

【問】保育システムのOCR化にかかる費用について、補助金は適用されるのか

【答】全て一般財源である

・災害対策総務事務費

【問】アラート機器を新型に更新することで、市民への情報提供の効率はどの程度向上するのか

【答】市民へのよりシンプルで分かりやすい防災情報の提供と、きめ細やかな情報配信が可能になることで、情報提供の効率が向上すると考えている

・納税通知書等印刷及び封入封かん業務委託料

【問】納税通知書の様式変更による納税者への影響はあるのか

【答】基幹系システム標準化に伴う様式変更であり、内容に係る変更予定はないため影響はない

・中学校給食調理等業務委託料

【問】食数を1,500食と想定した根拠はあるのか

【答】中学校給食は月ごとの申込データを管理しており、申込数の実績により推計し、1,500食と見込みを立てた



6月定例会 議決結果一覧 賛否が分かれた議案

6月定例会は賛否が分かれた議案はありませんでした

意見書

地方自治法の規程に基づき、春日市の公益に関する意見書を国に提出しました。

第2号意見書案 提出者 原 克巳 議員

地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書



【要旨】

消費者被害を防ぐには、相談体制の確保や消費者教育・啓発など、地方消費者行政の充実・強化が不可欠である。しかし、地方消費者行政推進交付金は、令和7年度末に多くの地方公共団体で活用期間が終了するため、相談体制等の継続が困難となり、地方消費者行政の後退・縮小が懸念される。また、消費生活相談の相談員の担い手不足が深刻化しており、国の主導で雇用形態や待遇の改善の速やかな制度設計と予算措置が必要である。さらに、消費生活相談のデジタル化に伴い、国は新システム移行に向け環境整備を行ってきたが、端末リース費用などは自治体負担とされており、これらの経常的費用も国の責任で措置すべきである。よって、地方消費者行政の安定的な推進と消費者被害防止のため、必要な予算措置等を国に求める。

第3号意見書案 提出者 安部 仰 議員

刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書



【要旨】

冤罪は、無実の人が罪に問われ、人生や名誉を奪われる深刻な人権侵害である。冤罪被害を正す制度として再審制度があるが、手続きの公平性や透明性が制度として担保されているとは言い難い。特に再審請求における証拠開示を義務づける明文規定が存在せず、裁判官や検察官の判断により大きく異なる実態がある。また、再審開始の決定がなされた後に、検察官が不服申立てを行うことで、冤罪被害者の迅速な救済を妨げている。よって、証拠開示制度の法制化及び再審開始決定への検察官の不服申立てを制限することなどを内容とした、刑事訴訟法の再審に関する規定の抜本的な見直しを速やかに行うことを求める。

第2号、第3号意見書の本文はこちから



第2号 意見書



第3号 意見書



ここが聞きたい!

一般質問

一般質問とは

議員がその所属する地方公共団体の執行機関に対し、

- ①事務の執行の状況や将来に対する方針などについて質したり、
- ②報告や説明を求めたり、
- ③疑問を質すことをいいます。

一般質問は、定例会に限って許され、臨時会ではできません。

また、質問は議案とは関係なく行政全般について認められます。

いつでもどこでも、QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、YouTubeで一般質問の録画映像を視聴することができます。



安全な通学路を確保する取組への考えは

よね まる たか ひろ
米丸 貴浩 議員



【問】少し低い目線の点検は、具体的に目線の高さを確認するものを用意してはどうか。



【答】7歳児の平均身長をハンドブックに記載する。

【問】アンケート調査の現状把握と対応はどうか。

【答】アンケートの説明内容と回答様式にそごがある事実を把握した。地域の方が回答できる仕様に見直す。

【問】プログラムはバージョンアップを図るのか。



【答】改善の余地は残っている。直ちに見直せるもの、段階的に見直すものなど課題整理を行い引き続きバージョンアップを図る。

コミュニティバス「やよい」について

はら かつみ
原 克巳 議員



【問】70歳以上運賃無料化による高齢者の外出機会増加が心身の健康によい影響を及ぼし、さらに中長期的に見れば介護、医療費削減のほか、新たな高齢者支援、福祉分野の施策に展開できる可能性もある。今後、健康や福祉分野への波及効果について多角的な検証が必要ではないか。



コミュニティバス「やよい」

子どもの視力を守る取組と課題について

なす じゅんこ
奈須 純子 議員



【問】本市における幼稚園や保育園での定期的な視力検査は。



【答】確認したところ実施されていない。

【問】幼稚園・保育園における視力検査助成金のお考えは。

【答】視力検査の必要性を各園にご理解頂く必要があり、視力助成金については今後の参考とする。

【問】早期発見や目を守る事について。

【答】乳幼児期は視力が発達する重要な時期、長時間のメディア利用の影響に注意が必要、関係機関と協力し保護者との連携を深め子どもの目を守る取組に努める。

だれもが安心に搾乳できる 環境づくりが必要

たか はし ゆう こ
高橋 裕子 議員



【問】入院中の赤ちゃんに母乳を届けるためや、産後に職場復帰する女性が安心して搾乳できる場所の確保、また周囲の理解などが課題。女性が出産後、安心して社会参画ができ、健康に活動するため授乳室でも搾乳しやすい工夫や必要な方が安心して搾乳できる環境づくりに取り組むべきと考えるが見解は。

【答】赤ちゃんを連れていない場合に授乳室を利用しにくいとの声があるとのこと。まずは、公共施設の授乳室に搾乳ができる旨の表示を実施する。



自治会への支援について

さこ けん じ
迫 賢二 議員



【問】加入率向上に繋がる自治会独自の取組を、他の自治会に広めていく事が大切だと考えるが。

【答】「昇町まちづくりポイント」等の取組についても、事業内容や事業効果について事例発表をお願いし、自治会長会の場を活用し情報共有を図る。



【問】まちづくり交付金の算定の見直しを検討すべきではないか。

【答】現在のまちづくり交付金の算出方法にも一定の課題があると考える。総合的な観点から慎重に見直しの検討を進めていく。

上白水、東浦西浦地区一帯とため池について

ふな く ぼ のぶ あき
船久保 信昭 議員

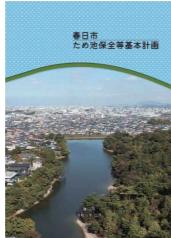


【問】上白水、東浦西浦地区とゴルフ場エリアの一帯は、近隣住民が災害の不安を抱えているため、地区計画を見直すべきでは。

【答】I 地区の一部を J 地区とし、ゴルフ場以外の土地利用が可能となるよう地区計画の見直しを進める。

【問】白水池について「ため池保全等基本計画」では、民有地であるが。

【答】上白水財産組合の所有部分約 8 万 3,400m²を、既に市への寄附を決定いただいた。民有地の残っている部分も、関係者の思いを受け止め、丁寧に話を進めたい。



春日市ため池保全等基本計画

防災対策について

もり やま さつき
森山 五月 議員



【問】災害時における命を守る情報伝達のさらなる強化策として、市民に分かりやすい視覚情報での即時周知が可能なデジタルサイネージの導入が重要かと考えるが見解を伺う。



【答】平常時の活用方法など、様々な検討が必要であると考えている。現時点では導入する予定はないが、デジタルサイネージを含め、複数の情報を組み合わせた情報伝達手段の多重化については、今後も研究を行っていくと考えている。



心の健康支援について

さとう まさ ゆき
佐藤 誠之 議員



【問】心のサポーター養成とゲートキーパー研修を統合した形での研修導入について、本市としてどのようにお考えか。

【答】ゲートキーパーと心のサポーターのいずれも心の健康保持と命を守ることを目的としており、共通する部分も多くある。心のサポーター養成の意義は大いに理解するところであるので、次年度以降の開催について検討してみたいと考えている。



持続可能な自治会運営への支援は

よし い きょう こ
吉居 恒子 議員



【問】地域による世帯数や加入率の差は、自治会の財源・事業の大きさ等に多大な影響を与えており。自治会には、住民サービスともいえる福祉や環境整備、防災など重要な役割もある。地域住民の生活環境も変わるもので、自治会運営を持続させる支援について計画があるか。



【答】引き続き自治会の役割や必要性を広く伝え、自治会加入の促進と共に、自治会運営等の負担軽減につながる支援について、自治会連合会とも協議しながら研究していく。



市民の健康とスポーツ振興

にし むら すみ こ
西村 澄子 議員



【問】多様な市民が共にスポーツを楽しむ共生型の視点が重要と考えるが市の方向性は。

【答】ニュースポーツの普及やパラスポーツイベント等、誰もが気軽に触れられる環境づくりを進めていく。



【問】スポーツ施設予約システムの改善の方向性は。

【答】平成27年度の導入から11年が経過し課題を認識している。予約システムの利便性を高めることは、スポーツ実施率の向上につながると考え、令和8年度から新システムの利用開始に向け現在協議を進めている。

信頼を深め利便性を高める 情報公開を求める

にし かわ ふみ よ
西川 文代 議員



【問】多くの自治体では情報公開の審査請求は情報公開審査会で審査している。市民の市政への信頼を深める方向を考えるなら今後は本市でも情報公開審査会での対応がよいと考えるが見解は。



【答】従前の情報公開審査会を復活させる必要があるとは考えていない。

【問】例えば電子データ化されていないと市民の利便性と費用負担という面、行政事務の効率という点でも課題だと考えるが見解は。

【答】電子ファイル等による開示の拡大についても今後検討する必要があると考える。

障がい福祉支援の充実について

なかむらこうぞう
中村 孝二 議員



【問】大人の発達障害支援サービス送迎について、今の時代に合った発達障害支援策が求められているが、特別支援学校を卒業した大人であっても利用できる支援策はないか。

【答】移動支援サービスについては、基本的に地域における自立生活及び社会参加の利用を想定している。

【問】用途地域の見直しについて、第一種低層住居専用地域見直しで将来像は描けると考えるが？

【答】市域全体における課題を分析検討していく。



春日市における保育士確保対策について

たなかたかし
田中 隆志 議員



【問】求人情報を提供するだけでなく、全面的な就労支援を行い、包括的かつ能動的なマッチング支援へと保育士等人材バンクを発展させては。

【答】保育士等人材バンクなどの参考にできる。

【問】保育士国家試験による資格取得の支援により、各保育施設での人材育成を市としてサポートしては。

【答】資格保有者の方々をどのように就職につなげるかを一番の課題と考え対応。国家試験ルートを活用した保育士育成支援制度は、検討する予定はない。



再生可能エネルギー電力調達の推進について

ありむらひろし
有村 博 議員



【問】再生可能エネルギー電力調達の現状認識と、基本的な方向性について、国は、2030年度までに公共施設で調達する電力の60%以上を再エネ電力とすることを目標としているが、春日市としてこの目標達成に向けた具体的なロードマップや数値目標を定めているか。

【答】現時点では2030年までの国の再生可能エネルギー電力調達目標に準じた計画はないが、今後、再生可能エネルギーを取り巻く状況に注視しながら、検討していく。



包括連携協定の今後の計画について

きただのぶる
北田 織 議員



【問】1年半前、20年前から本市の関係団体と交流を深めている大木町から、「お互いが必要とする関係構築に向けて」、具体的に「春日市と大木町との食と農に関する包括連携の提案」がなされている。その取扱いについて問う。

【答】公的な提案ではないが、市政運営や市民サービスに資する示唆もあり、担当所管も交えて意見交換、情報共有を図った。連携協定締結は両市町の意向を踏まえつつ、慎重な調整が必要であると認識している。



次世代型再生エネルギーについて

うちのあきひろ
内野 明浩 議員



【問】2025年は日本にとってまさに「次世代型太陽電池ペロブスカイト元年」になるといわれている。この度の福岡県議会では、令和7年度当初予算概要の中に、その普及として1億1,500万円の予算が盛り込まれている。

ペロブスカイト太陽電池の、新50年プラン市中央部地域共生交流施設への導入について。

【答】ペロブスカイト太陽電池などの技術革新を踏まえ基本設計書に記載し、将来的に太陽光発電設備を設置できるよう計画を進めている。



星見ヶ丘区域の自治会としての独立について

いわぶちゆたか
岩渕 積 議員



【問】春日市のまちづくりにおける36番目の自治会として星見ヶ丘地区自治会を発足させることの可否と、その判断に関しての春日市の見解を問う。

【答】星見ヶ丘区域の松ヶ丘地区からの分区は、松ヶ丘地区自治会が、いつどのような形で分区していくのかについて、しっかりと話をまとめた上で、合意がととのった段階で春日市が分区の申し出を受け、新たな自治会の設置に向けた協議を始めることになる。



第3回 春日市議会臨時会

令和7年
5月15日

3

春日市議会臨時会



○令和7年度春日市一般会計補正予算(第3号)

補正額 5億9,356万2千円 歳入歳出総額 437億5,830万3千円

令和6年度に実施した国の「物価高騰対応及び定額減税補足に伴う給付金」の対象者のうち、同給付金の支給額に不足が生じる市民に対して不足額を給付するため、関連予算を補正。

○工事請負契約の締結

春日南小学校の学級数の増加に対応するため、普通教室3教室及び渡り廊下を増築。

契約目的 春日南小学校校舎棟増築工事

契約金額 1億9,800万円

契約相手方 株式会社キムラ建設



臨時会とは

必要がある場合に特定の案件に限って招集される議会です。招集の権限は市長にありますが、議長もしくは議員定数の4分の1以上の議員から、市長に対して招集請求することもできます。

議会から市へ提言を行いました



令和7年6月23日の本会議で、市民共生委員会の委員長が所管事務調査の結果報告を行いました。

市民共生委員会からの提言事項を議会からの提言とすることに決定し、市へ提出しました。



提言内容 市民共生委員会

「市民が健やかで、支えあって暮らすまちづくりについて」

委員会では、「市民が健やかで、支えあって暮らすまちづくり」をテーマに所管事務調査を行い、以下のように、提言をまとめた。

健康づくりと医療費の適正化の課題解決のため、まず、健康づくりの推進として行動変容が期待できる「健康マイレージ」事業は、「ふくおか健康ポイントアプリ」を準用し、ポイント付与は特定検診や市民健康診断等に広げ、景品は本市の指定ごみ袋など生活必需品、景品提供の時期は参加者の継続性を考慮しポイント達成ごとに行い、ウォーキング支援としては国の各種補助金を活用した健康遊具等の整備を図ること。

民生委員・児童委員の課題であるなり手不足については、現在の自治会長が選考する方法から地区内関係者で構成する「地区内民生委員推薦準備会」を発足して候補者を選考し、自治会長が推薦する方法に見直すこと。

負担軽減については、民生委員への協力・補佐する協力員制度の導入と民生委員本来の活動と地域事業参画の仕分けを行う「仮称・自治会事業協議会」を設置し、地域行事との関わりを明確化すること等の提言を行った。

全国市議会議長会表彰

第101回全国市議会議長会定期総会において、長年の議員活動を通して、地方自治の発展と市政の振興に貢献した功績に対し、表彰が行われました。

本市からは、勤続10年以上として、吉居 恭子議員、内野 明浩議員、迫 賢二議員、岩渕 穂議員、西川 文代議員が受彰しました。



迫 賢二議員 内野 明浩議員 吉居 恭子議員 岩渕 穂議員 西川 文代議員

～3C プラン！ 市議会を分かりやすく・親しみある議会に～

春日市議会

こども議会 「こども議会」体験や 議会 「社会科授業」で交流



春日原小学校
6年生



3C (スリーシー) プランとは、

City Council (シティカウンシル) 市議会

Citizens (シティズン) 市民

Connect (コネクト) つながる

の頭文字を表し、『市民の皆さんにわかりやすく、親しみのある議会』を目指しています。

まずは4つの小学校の児童と、「こども議会」や社会科の授業を通じて交流を行いました。その際にいただいた先生方の感想をご紹介いたします。

5月16日(金)

春日野小学校
6年生



「こども議会」
を体験

議員の皆さん一人ひとりに寄り添いながら、笑顔で分かりやすくサポートしてくださいました事が印象的でした。一つのことを決めるのに、こんなに時間と労力がかかる事に驚きましたが、こうした機会が続いているれば、有権者の意識も少しずつ変わり、政治がもっと身近に感じられるようになると思います。

5月23日(金)

春日原小学校 3年生
「模擬議会」
を傍聴



模擬議会を傍聴席から見学し、議会でさまざまなことが決まっていることを理解できたように感じました。初めての取組で少し難しく感じる場面もありましたが、わかりやすく丁寧にご準備いただき、とてもありがとうございました。

今後の社会科や総合的な学習の時間にも生かしていきたいです。

6月3日(火)

白水小学校
6年生



「社会科の授業」
で交流

教科書だけでなく、実際に議員の方々から話を聞くことで、子どもたちは議会をより身近に感じることができました。議会の活動を知る中で、「自分たちの暮らしと政治はつながっているんだ」と実感し、政治に参加したという意識を持つ子もいました。この学びはとても貴重で今後も続けて行きたいです。

7月4日(金)

日の出小学校
6年生



「こども議会」
を体験

市議会棟の見学や、実際に議会での決議を体験することができ、とても新鮮で、子どもたちも終始楽しんでいました。子どもたちにとって身近な議題を取り上げていただいたおかげで、内容もとてもわかりやすかったです。今回の体験を通して学んだことを今後に生かし、これから日本の日本を支える子どもたちが政治に興味を持てるよう、引き続き働きかけていきたいと思います。

令和6年度 政務活動費

収支を
お知らせします

所属会派	公明党	創政会	翔春会	春令会	春陽会	さんかく春日
議員の氏名	高橋裕子 原克巳 森山五月 佐藤誠之	松尾徳晴 米丸貴浩	船久保信昭 迫 賢二	西村澄子 中原智昭	岩渕 穂 安部 仰	西川文代 北田 織
交付額	600,000円	300,000円	300,000円	300,000円	300,000円	175,000円
各会派支出額	調査研究費	285,982円	0円	191,171円	191,172円	191,172円
	研修費	55,273円	252,194円	0円	0円	0円
	広報費	0円	0円	0円	3,000円	0円
	広聴費	0円	0円	0円	0円	0円
	要請・陳情活動費	0円	0円	0円	0円	0円
	会議費	0円	0円	0円	0円	0円
	資料作成費	0円	0円	950円	0円	0円
	資料購入費	135,411円	5,000円	0円	33,000円	0円
	人件費	0円	0円	0円	0円	0円
	事務所費	0円	0円	0円	0円	0円
支 出 額 合 計	573,086円	333,074円	352,016円	324,017円	277,712円	61,013円
執 行 率	95.5%	100.0%	100.0%	100.0%	92.5%	34.8%

*表に記載された金額が交付上限となり、支出額が交付額を上回った場合でも、交付額を超えて助成されることはありません。

*会派の変更に伴い、さんかく春日については4月から10月の収支金額、北田 織議員、西川文代議員については11月から3月の収支金額となります。

各報告書、領収書の詳細は
ウェブサイトでご覧いただけます。
「令和6年度政務活動費収支報告書」はコチラ→



報告書や
領収書を
チェック！

吉居恭子	北田 織	有村 博	西川文代	田中隆志	奈須純子	内野明浩	中村孝三
150,000円	62,500円	150,000円	62,500円	150,000円	150,000円	150,000円	150,000円
14,940円	0円	0円	0円	0円	0円	94,810円	0円
6,000円	68,526円	3,000円	19,876円	42,043円	74,870円	0円	135,050円
0円	0円	15,000円	0円	0円	0円	0円	0円
15,650円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
25,058円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
94,432円	0円	9,100円	5,940円	35,500円	4,480円	0円	2,500円
0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
0円	0円	123,001円	23,058円	90,688円	75,000円	75,000円	9,060円
156,080円	68,526円	150,101円	48,874円	168,231円	154,350円	169,810円	146,610円
100.0%	100.0%	100.0%	78.1%	100.0%	100.0%	100.0%	97.7%

政務活動費って？



政務活動費は、地方自治法により、議会の議員の調査研究その他の活動に資するため必要な費用の一部として、その議会における会派または議員に対し、政務活動費を交付することができると規定されています。
また、交付を受けた政務活動費に係る収支は議長に報告する必要があります、議長は、その使途の透明性の確保に努める必要があります。

主な項目の内容は下記のとおりです

調査研究費…市の事務に関する先進地視察旅費など

研修費…研修会やセミナーなどの参加費や旅費など

広報費…市政報告会開催に要する会議室使用料

広聴費…市民相談会の開催に要する費用や
住民アンケート等の印刷費など

資料作成費…一般質問の際のパネル作成に係る経費など

資料購入費…政治経済などに関する雑誌、専門誌の購読料

春日市政活動費の
交付に関する条例



同条例施行規則



政務活動費の使途基準



ぜひ傍聴に来てください!
議会を見に行こう!

会期日程 令和7年9月定例会



日	月	火	水	木	金	土
	9/1 本会議 (提案説明)	2	3 本会議 補正予算審査委 決算審査委(審査)	4 常任委員会 (審査)	5 常任委員会 (審査) 広報特別委	6
7	8 常任委員会 (審査)	9 決算審査委 (審査)	10 決算審査委 (審査)	11 決算審査委 (審査)	12	13
14	15 敬老の日	16 本会議 (一般質問)	17	18 常任委員会 (採決)	19 補正予算審査委・ 決算審査委(採決)	20
21	22 常任委員会	23 秋分の日	24 常任委員会 広報特別委	25 本会議 (採決)	26	27
28	29	30				

- 本会議を傍聴したい方は、市役所1階市民ロビーの傍聴席入口からお入りください。
- 入口横のカウンターに受付簿が置いてありますので、住所、氏名の記入をお願いいたします。
- 本会議の模様は、市民ロビーに設置されているテレビモニターでもご覧になれます。
- 傍聴席は一般席72席、車椅子席4席、親子席4席となっております。

あなたの写真が表紙に!
コンテスト

次回締切 9月10日(水)まで

応募方法詳細は右上のQRコードから!

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集しています。
表紙に選ばれなかった写真もSNSでご紹介する予定です。
たくさんのご応募お待ちしています。

自慢の写真を
ご応募ください!

次号223号掲載!!
令和7年12月1日発行

1位は表紙に掲載!!

応募作品は議会SNSにて紹介予定





「議会だより」では掲載しきれていない、市議会の活動や様子などを随時発信しています！
是非ご覧ください。

Instagram

市議会の様々な活動を発信！



YouTube

定例会の様子をご覧ください。

各ページのQRコードから視聴できます。

いろどり

最近、ひさしぶりに朝の連続テレビ小説を楽しみにしています。

子育て真っ最中だったころ、子どもたちと一緒によく聴いていたアニメの主題歌。

とても親しみやすい曲で、大人になった今、あらためてその歌のメッセージに心を打たれます。

「どう生きるのか、本当の幸せとは何か」といった、人生の本質に関わる問い合わせが歌われ、子ども向けの曲でありながら、大人の心にもまっすぐ響いてきます。

ヒーローの主人公は、どんなときも困っている人を助け、仲間と力を合わせて前に進んでいきます。その姿に、分け隔てない愛や勇気を感じます。長く愛されているのも納得です。

私も、そんなふうに誰かを思いやって動ける人でいたいなと思っています。アンパンマンみたいに…って言うとちょっと照れくさいけど、けっこう本気です。



広報特別委員会

委員長 西村 澄子

副委員長 安部 仰

委員 中原 智昭

委員 有村 博

かすが議会だより

令和7年9月1日

No.222

発行/春日市議会 編集/広報特別委員会

春日市議会事務局

住所/〒816-8501 福岡県春日市原町3丁目1番地5

TEL/092-584-1113 FAX/092-584-1146

E-mail/gikai@city.kasuga.fukuoka.jp

※QRコードは(株)デンソーウエーブの登録商標です。